平成	2	3	年度	年度 事務事業に関する点検・評価シート 施策番号 4-7						4-7		
重点施策				社会教	育施	育施設の整備充実					社会教育 課長·竹谷	
重点施策の概要	目 的			市民の社会教育活動を支える施設を整備するとともに、今後の人口規模や利用状況に照らし合わせた社会教育施設の配置計画を策定し、継続した社会教育活動が進められる環境づくりに取り組む。								
	今年度の 主要事業			①旧北海道立高等技術専門学院を新たに教育支援センターとして活用するための基本設計 ②教育支援センター開館に伴う青年体育センター分館本町体育館の廃止 ③温水プールの民間への無償譲渡								
			区	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		単位	H21	H22	H23		特記事項	
事業の	1	-	会教育	育施設の耐震	目標				100	該当施設:総合福祉		
		'化			実績		0	0	0	青年体育センター、	スポーツセン	<b>/</b> ター
	2	2 教育支援センターの開			目標					H24.8月に開館		
	_	設			実績		技専廃止		購入·基本設計			
	3	本	町体育館の廃止		目標		耐震化で協議	耐震化で協議		H23.9月から休館	、H24.3月に	廃止
目					実績		耐震化で協議	耐震化で協議	廃止			
[標と実績	4			・ルの民間へ	目標		公募条件整理	公募条件整理		H24.4月に無償譲	波决正	
		の無償譲渡			実績 目標		公募条件整理	公募条件整理	公募			
	5				実績							
	-				日標							
	6				実績							
	7	7			目標実績							
①社会教育施設の耐震化については課題を洗い出し、決定にむけての資料を整理した。 ②教育支援センターを開設することにより、耐震化工事が必要だった本町体育館を廃止することができ 代替体育館があったことによりこれまでのサービスを低下させることなく、耐震化+改修費=約5,000万 の縮減につながった。 ③市では初となる民間への公共施設(温水プール)の無償譲渡の手続きを進めることができた。維持管 費及び改修費を減額しただけではなく、民間力をいかした魅力ある健康増進施設がH24年9月にオープ し、サービスを向上することができた。  ①耐震化しなければならない施設について、耐震化するかどうかを含め、施設の在り方についての方金									5,000万円 維持管理 ニオープン			
課題				長化しなければ 含がなければな			こついて、『	可震化する	<b>らかとつか</b>	を含め、肔設の任	り方についる	(の方針決
評価		F	・既存施の整備フ アを確認を表現します。	設の記 5針の <b>見点 2</b>	5用や民間 可能性を <b>施策の</b>	·広げる経験 <b>)目的を達</b>	、れての施 験を得た。 <b>成するた</b>	設維持な <b>め、事業</b>	ど、平成23年度は <b>見直し等の余地か</b> ター、文化センタ・	があるか		

・青年体育センター、スポーツセンター、総合福祉センター、文化センターは、平成27年の公共 施設の耐震化目標を達成するため、スピードをあげ施設の見直し、施設整備を進めていく。

## 【評価の区分】

- A:期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B:ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D:期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

平成27年という期限が決められていることや、それぞれの施設で大規模改修が必要なことから、社会教育施設の全体的な見直しが必要であり、平成24年度からスタートするストックマネジメント計画とも調整しながら、迅速な作業・判断を行っていく。
□ 拡充 □ 縮小・統廃合 □ 質的向上 ■ スピードアップ □ 検証 □ 継続

引き続き適切に進めていただきたい。

点検・評価に関 するコメント